

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	なかよし保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成 19 年 8 月 1 日

総 評	<p>宇治市の東部黄檗の丘陵地に位置するなかよし保育園は、昭和47年創立の歴史ある保育園です。近年は、在宅の子育て家庭の支援として園内に子育て支援センターを設置するなど、地域の福祉ニーズに積極的に応えています。</p> <p>保育方針である「戸外活動を中心とした取り組みの中で、意欲的に遊ぶ力、体験を通して工夫する力、創造力を養い丈夫な体づくりをめざし、社会生活にはルールや守らなければならない約束事のあることを学んでいく」の実現に向かって保育園の職員が一丸となって日々の保育に取り組んでいます。また、さらなる職員資質の向上を目指して園長をはじめ、職員が外部研修に積極的に参加しています。</p> <p>今後は、各種データ（保育記録等）、マニュアル、規則といった文書関係を整備されることで、なかよし保育園の保育文化が構築され、さらなる質の向上につながることでしょう。</p>
特に良かった点(※)	<p>保育室の内外で、子どもが過ごす環境が工夫され、とてもよく整備されています。</p> <p>ぶどうやキウイの木が茂り、広い園庭には緑が整備されています。実の成長と収穫は、子どもに大きな興味となり、保育の一部、そして保護者と保育園の関わりの一部となっています。</p> <p>近隣へ積極的に散歩に出かけ、道すがら動植物を観察したり、見つけた物を持ち帰って製作に利用したり、自然と触れ合う機会を大切にしています。</p> <p>また、行き交う人々に積極的に挨拶を行い、デイサービスや地域世代間の交流、行事の交流、電車・バスを利用して園外保育を行うなど、身近な社会と関わる取り組みがあります。</p> <p>用途によるタオルの使い分け、手洗い方法と嘔吐物の対応方法の掲示など多数の工夫を凝らし園内感染防止に取り組んでいます。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>「理念」「基本方針」について、職員や利用者への周知状況を確認し、理解を促すための取り組みについて整備しましょう。</p> <p>必要な人材の確保や人事管理について、組織として具体的なプランを整備しましょう。</p> <p>職員の教育や研修に関する基本姿勢を整備しましょう。</p> <p>実習生の育成に関するプログラム（全体的計画及び個々の計画）を整備しましょう。</p> <p>利用者のプライバシー保護に関する規定、マニュアル等の整備を行いましょう。</p> <p>保育園の変更時などの保育の継続性に関する手順や引継ぎに関する文書を整備しましょう。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【共通評価基準】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	なかよし保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成19年8月1日

## I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	B	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A	B
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	A	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	C	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	C	B

## 【自由記述欄】

・三つの理念があり、「運営理念」で個人の尊厳、「経営理念」で地域福祉の増進、「保育理念」で利用者の発達援助が取上げられ、社会福祉法を踏まえています。また、保育方針には、保育所保育指針に則り、子どもの心身・感性・社会性の育ちがうたわれています。地域の関係者への周知が行われれば、なお良いでしょう。

・事業計画について、職員の意見を取入れて施設の改善等を計画され、職員への説明、見直しが行われています。

・園長が自らの責任の下、保育サービスの利用者ニーズの把握・実施などにリーダーシップを発揮しています。サービスの評価分析までには至りませんが、意見箱の設置や各行事後のアンケート調査等を行っています。また職員に対し、毎年定期的に面談を実施し、職員の意見を取り入れた環境整備や乳児会・幼児会別にサービス向上について取り組んでいます。

・遵守すべき法令等のリスト化はされていませんが、管理者自ら法令等を正しく理解するための努力をしています。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	C	C
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	C
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	B
		② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	C	C
	II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B
② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。			B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	C	B
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	C	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	C	B
		② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A	A

## 【自由記述欄】

・保育の場に人事考課はふさわしくないと考えられていません。人事管理の具体的なプランはありませんが、面談で可能な限り職員の意見や要望を聞くように努めています。なお、人事・労務の効率化の取り組みが見られます。

・職員研修については、園から研修リストを提示し職員が選択する研修に参加できるよう努めています。研修報告レポートを作成し、研修内容の発表の機会を設けています。教育・研修に対する基本姿勢を明示するとともに、計画の評価・見直しを行うとさらによいでしょう。

・保育実習生の受け入れに積極的ですが、実習の意義や方針、全般を学べるような基本プログラムを作成することが望まれます。

・安全確保について園長が担当者となり、定期的に検討会が開催されています。事故防止のためのチェックリストがあり、事故発生状況を職員間で確認し合い

現場からの声をもとに対策を講じるなど、事故防止策の評価・見直しが行われています。

・「地域との関わりあいを大切にしたい」との思いがあり、掲示板等で子育て情報を提供、園庭開放(毎月1回)を行い、地域の方々と日常的なコミュニケーションを心がけています。また、ボランティアを積極的に受け入れています。

・地域の関係機関や団体についてのリストがあり、明確化されています。小学生と園児の交流があり、小学校との連携が取られています。

・地域のニーズから子育て相談を実施しています。そして、なかよし広場等の活動を通して地域の福祉ニーズの把握に努めています。

## Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	C	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	C	
	Ⅲ-1-(2) 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	B	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	C	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	C	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	B	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

## 【自由記述欄】

・職員会議(月1回)、乳児会、幼児会等の会議があり、職員が共通の認識をもちながら一人ひとりの子どもを保育するしくみがあります。

・利用者の意向に配慮しつつ、利用者満足の向上の取組みとして、意見箱の設置、行事後アンケートがあります。

・意見箱は保護者会が主体で設置しています。保護者の申し出により、保護者会役員と懇談したり、意見を述べやすい環境が整備されています。苦情解決の体制も整備されています。相談方法や苦情解決の仕組みは文書化されていませんが、園長や主任を先頭に利用者の意見に対して迅速で丁寧な対応を心がけています。利用者のプライバシー保護や配慮など文書化されることが求められます。

・会議等を通じて、職員意見を保育に反映することが出来ます。また、自己評価を行い、保育の質の向上に努めています。取り組むべき課題は職員間で共有化され、改善する仕組みがあります。

・保育の基本姿勢は文書による明示はないものの、職員研修・面談、個別指導等を通して周知されています。

・利用者(子ども)の保育記録は、一人ひとりについて整備されています。また、それらの個人情報の管理については会議を通して職員の周知徹底を図っています。

・インターネットを利用した保育園の紹介はされていませんが、保育所を紹介する資料は作成されており、見学にも柔軟に対応しています。

・他の保育所に変わったり、保育が終了した保護者の相談できる体制ができればなお良いでしょう。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

---

受診施設名	なかよし保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成19年8月1日

## 【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	B	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	B	B
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

## 【自由記述欄】

・保育方針、保育計画、保育指導計画は保育の理念に基づき作成されています。年2回の懇談(クラス懇談・個人懇談)や、連絡帳、行事アンケートを通じて、地域や保護者の意向を取り入れています。駐車場の確保や保安職員の配置、騒音への配慮、地域子育て支援、行事の要望等も取り入れています。

・指導計画は、クラス毎に定期的に評価・反省し、改善する仕組みがあります。

・保護者面談を通じて、健康診断や身体計測の結果、予防接種や既往症等についての情報交換を行っています。これらの情報は“健康記録ノート”に整理し、保護者が確認できるしくみになっています。

・歯科健診結果をふまえ、絵本やエプロンシアターを利用して歯の大切さや歯磨き方法の指導を行っています。また歯ブラシは園の殺菌庫で管理されています。毎日の登降園時間の記入表に睡眠、朝食、その他連絡事項の記入欄があり、連絡帳以外でも子どもの健康状態、生活状況が分かるように一覧になっています。

・健康管理マニュアルを整備するまでに至っていませんが、その方法については職員間に周知されています。

・子どもの健康に関する情報は「なかよしだより」「じょうぶなからだ」「けんこうだより」やその他の掲示板を通して保護者に提供されています。

・菜園活動、クッキング、当番活動、異年齢交流、行事メニュー、バイキング等があり、音楽を流すなど、食を楽しむ工夫が見られます。

・調理員が子どもと給食を一緒に食べることで、喫食状況を把握し、体調や個人差に配慮した献立・調理を実施されています。

・毎月、保育士・調理員による給食検討会、保護者の試食会やアンケートが実施されています。給食サンプルの展示もあり、調理の様子は子ども達から見えるようになっており、子どもの食への興味・関心を促すと共に、家庭との連携に努めています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果
------	------	------	------

計画分類	計画項目	計画細目	自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けられないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B

## 【自由記述欄】

・園庭では木かけや日陰を多く作るよう配慮され緑も多くあります。また乳児クラス専用の庭があり、乳幼児とも安全に遊べる環境が整備されています。またベランダ、踊り場にベンチや遊具を置くなど、子どもが保育室の内外で心地良く過ごすことができる環境が整えられています。午睡時には保育士が子どものそばにつくなどの配慮が見られます。

・設備や遊具等は安全確保のために毎月点検されています。登降園時の対応を園庭で行うなど、保育方針にも挙げられている外遊びを中心とした保育活動が朝夕にも実施されています。

・0歳児保育は、子どもと向き合いながら食事をしています。個々の生活リズムに対応するようにされています。

・季節の花を植え、昆虫を飼育し、花を飾るなど自然物を取り入れ、季節に合わせた保育環境が工夫されています。

・当番活動(ウサギの飼育、植物への水やり、給食など)や朝夕の異年齢交流を通じて、人間関係が育つよう配慮されています。

・子どもの権利擁護に関する情報や一人ひとりの子どもの理解や発達援助は、指導計画・個人記録、職員会議等で共通認識されています。延長保育時間の子どもの健康状態や性格などについて、関係職員が把握するために伝達ノートを活用したり、同じ職員を配置するなど子ども・保護者が安心できる配慮と工夫があります。

・長時間保育の延長児に対する軽食提供や障害児に対するバリアフリーについて検討されることを望みます。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	C	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	C	未評価
A-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	C
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

## 【自由記述欄】

・個人懇談会は年2回実施していますが、その他でも必要に応じて相談を行っています。家庭環境や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されています。

・クラス懇談、個人懇談、保育参観を各々年2回行い、子どもの発達や育児について、保護者と共通理解を得るための機会を設けています。

・職員は児童虐待に関する研修を受け、受け入れ時に朝の視診等で子どもと保護者の様子や子どもの体調の変化に注意を払い、早期発見・予防に努めています。虐待が疑われる場合は自治体のマニュアルに基づき、園長・主任に報告し、他機関との連携を図る仕組みがあります。

・一時保育は実施していませんので、未評価としています。

・食中毒発生時の対応マニュアルはありませんが、全職員が保健所の衛生管理指導を受けています。

・トイレに手洗いの方法や吐物等の対応方法などの掲示がありました。布オムツ使用しており、下痢便のときは感染予防ため、降園時まで塩素系液体に漬けています。他の感染予防対策として、プール前のおしり洗いも実施されています。また、トイレ後の手洗いは使い捨てのペーパータオルを使用し、それ以外では個人のタオルを使用、用途によってタオルの使い分けをしています。クラスの感染症情報は玄関内掲示板に報告されています。